

**平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市交通 部 交通政策 室 都市安全企画 課

1. 基本情報

1202

施設名	伊丹市自転車駐車場 (船原・西台・阪急伊丹駅前地下・平松・東有岡・JR伊丹駅前第1・JR伊丹駅前第2・JR伊丹駅前第3・伊丹機械式・JR北伊丹駅前の各自転車駐車場)		
施設の設置目的	自転車を利用する市民の利便を図る。		
伊丹市総合計画 (第5次)に おける関連施策	政策目標： 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち 施策目標： 良質な都市空間の整備 主要施策： 交通ネットワークの充実および道路の整備		
指定管理者 の名称	ミディ総合管理株式会社 (団体の住所又は所在地) 大阪市阿倍野区阿倍野筋一丁目1番43号		
選定方法(公募・非公募) 及び指定期間	公募	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 33 年 3 月 31 日	
管理運営上の目 標 (管理運営の指定管理者 の具体的目標)	指標名	1日当たりの利用台数 (単位： 台)	
	指標の意味	1日当たりの利用台数	
	今年度の目標値	6,612	今年度の実績値 6,565

2. 利用状況

利用 状況 等の 推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30 (上期)	H30 (通期)
	年間使用料収入(千円)	183,784	173,811	165,515	162,082	161,812	83,864	167,538
	1日当たりの利用台数(台)	6,198	6,224	6,195	6,365	6,337	6,554	6,565
		504	476	453	444	443	458	459

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	3ヵ年 平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	指定管理委託料	83,847	83,855	101,121	89,608
	①合計	83,847	83,855	101,121	89,608
支出	維持管理				
	光熱水費	7,873	7,901	6,562	7,445
	清掃等委託料	11,586	10,822	12,784	11,731
	土地建物賃料	0	0	125	42
	修繕料	695	703	1,321	906
	運営				
	人件費	57,317	60,978	75,877	64,724
	事業等経費	2,021	2,302	8,365	4,229
	その他	4,585	4,878	19	3,161
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	84,077	87,584	105,053	92,238
純収支(①-②)		△ 230	△ 3,729	△ 3,932	△ 2,630

施設の管理運営 に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	174,930	173,811	165,515	162,082	161,812	167,538
	(内、使用料収入)	174,930	173,811	165,515	162,082	161,812	167,538
	市の支出	84,697	87,294	85,410	86,980	89,304	105,105
	(内、指定管理委託料)	83,499	86,094	83,804	83,847	83,855	101,121
	実質経費(歳出-歳入)	▲ 90,233	▲ 86,517	▲ 80,105	▲ 75,102	▲ 72,508	▲ 62,433

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	4月より指定管理を受け、順次、老朽化した看板・ポスター等を新たに作成し環境整備に努め、修繕業務においては消防設備や建築設備等の法的な内容を含め、市と適宜協議し適正な管理を実施した。また、一部の駐輪場については照明をLED化し環境に配慮した。	B	日常的な維持管理は適切に実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	利用者から苦情があった職員を指導すると共に配置の見直しを図った。6/29・7/4に全職員に接遇教育を実施し接客スキル向上を図った。	B	人員配置については、協定書等における水準を満たしている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	船原では防火管理者の資格を持った職員を配置させ、管理人に注意喚起している。	B	総括責任者から市への連絡体制は整っており、協定書等における水準を満たしている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	定期予約の効率化を図るため、インターネット予約を導入し、利用率の向上に努めた。また、JR伊丹駅前第3の定期利用の再開に向け公平さを保つため、厳密なる抽選で定期予約の申し込みを進めた。	A	定期利用のインターネット予約を導入した結果、JR伊丹駅周辺における駐輪場の利用率が向上した。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	入札時に提案したネコの目サイト・防犯カメラ設置・照明LED化・定期ネット予約等、事業計画に沿って実施している。	B	事業計画書に基づき、概ね計画通りに実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類は授受簿でチェックし確認漏れが無いよう努めている。	B	概ね協定書等の水準を満たす。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	計画に基づき経費処理は適正に運営している。	B	収支計画に基づき適正に運営されている。
		経理処理は、適切に行っているか。	A		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	日常的な維持管理については概ね協定書等の水準を満たしており、定期利用のインターネット予約を導入するなど利用者の利便性の向上に努めている。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】平成31年3月6日～平成31年3月20日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	①入出庫ブースにガムテープ等で案内掲示物を貼付けているため景観が悪い。(伊丹機械式) ②挨拶をしない管理人がいる。(平松) ③電動自転車の利用者が増えているため、収容スペースが足りない。(阪急伊丹駅前地下)	①案内掲示物の貼付け方法については、景観に配慮したものをを使用することとし、古くなった掲示物は速やかに処分することに対応。 ②改めて本件管理人に接遇指導を実施した。 ③一部の定期利用収容枠を一時利用収容枠に変更するなど、市と調整を行い改善に取り組む。
回答者数		
252		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
利用者からの苦情に伴う管理人の接遇改善（平松）	本件管理人に対し、改めて接遇の基本となる挨拶・言葉遣い等について再度指導を実施した。
利用者が電子マネー（ICOCA）で精算する際、ジャーナルの補充ミスにより精算できないケースが発生したため、再発防止策を講じること。	人的なミスであり、経験が少ない管理人に対してOJT教育を実施することで再発防止に努める。